

北魚沼あぜ道情報

2011年
1月号
JA北魚沼



新春の
北魚沼

家内安全・五穀豊穰・商売繁盛を願ひ、
力強く手を合わせます。



(朝日に輝く越後三山 JA本店屋上より)

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。さて、暖かいスタートを迎えた冬の魚沼。来年も『暑』かと思いきや、お天道様は私のお便り(十二月号)を読んだんでしようか、暮れも押し迫る忙しい最中に、ドカンと雪を落とすくれました。確かに大事な資源だと言ったけど…。いやいや、そんなことを言っていると、雪に埋まってしまいます。張り切って雪片付けをして、心地よい筋肉痛とともに新年を迎えました。

今年も仲良く?初詣!
今年はいつになく合わせた手が力強い父ちゃん。

大丈夫、今年もいい年になるよと隣で手を合わせます。

魚沼の元旦は、集落の皆が集会所に集まり、年の初めの賀詞交換を行います。

「今年もよろしく!」とお神酒を一杯。「さあさあ、どうぞどうぞ。」と断れ切れず、もう一杯。散会後は親戚の家へ繰出して、またまた「今年もよろしく。」と乾杯。また次の親戚へ…。いつの間にかこんなに親戚が増えたのかと思うほど、一日中飲んで廻ります。

これは父ちゃんの仕事始め。「家内安全・五穀豊穰・商売繁盛」を願って集落の状況や親戚の健康状態など確認しながら、人と人の絆を深め合う仕事なんです。(決して、ただの飲兵衛ではありません。)

そんなこんなで迎えた新年。私も農家の嫁ですが、米作りの一人として、また、農協の一職員として、長年変わりなく魚沼産コシヒカリを可愛がって頂く皆様に、一番近いところにおいて、皆様とお話するようにお便りを書ける幸せを感じております。

つたない文章ではございますが、担当になって2年目を迎える今年も魚沼の情報をお客様にお伝えしたいと思っております。

今年も、よろしくお便り申し上げます。

(JA北魚沼 佐藤)



「お米ごはん川柳」の紹介

新潟県米消費拡大推進協議会が発表した「お米・ごはん川柳」の優秀作品を紹介いたします。

最優秀賞

おにぎりはどこから見ても富士の山

優秀賞

みほとけとおんなじ釜のめしを食べ
米は父ごはんは母の手でつくる

佳作

米櫃にぎぎぎぎぎと新生活
米が無いあせる私は日本人
コシヒカリ運ぶ重さも心地よい

奨励賞

ダイエットします新米食べてから
稲の穂を握って豊作予感する
コシヒカリ食べて命をリレーする
薬より何故かよく効く母の粥
米粒を箸で挟めて日本人
宇宙から平和が見える白ごはん

この他に「米」にちなんで八十八の作品が選ばれています。

日本語は難しい反面、いろいろな思いが含まれていて、川柳はまさにこのことを象徴していると思います。奥ゆかしい日本人が作る川柳。思わず微笑みながらうなずいてしまいますね。

